

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
株式会社Anniversary		8年 2月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		十分なスペースは確保されている 天気の良い日は公園や学校のグラウンドなど広い場所で体を動かし医療的ケア児や重度心身障害児のお子さんは日光浴や季節を感じるようにしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法定で定められた職員数以上を配置している	午後の送迎前後は忙しく時間に追われることが多い
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		車いすやバギー等が必要な児童はスロープを使用している。階段やスロープには手すりが設置されている	雨の日にスロープの場所には屋根がない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		常に換気を行い定期的に共有部分の消毒を行っております。清掃・消毒を徹底し、清潔の維持に努めております。	各人に適しているか疑問を感じる時がある。改善すべきスペースが確保しにくい
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		特性に応じて個室にて対応はできる	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎朝ミーティングにて申し送りをしている。 毎月の職員会議の実施	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		事業所評価表を基に職員会議で情報共有を行っている 保護者会では直接ご意見をいただいている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月の職員会議の実施、PDCAやMBCPなどの活用をしている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価による外部評価は行っていない。 法人のホームページで自己評価の結果を公開している	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修参加・内部研修を行い、質向上に繋げている。 外部講師として今年はリトミック講師、歯科衛生士を招いた	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		適切な支援プログラムを作成しており、HPに公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		日々の行動観察や身体機能の評価から個別に支援している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		会議の実施で共通認識をはかっている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		会議の実施・毎朝の朝礼で共通認識をはかっている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		ソフトの導入や5領域に分けた支援の作成と実施のチェック	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		HPにも記載している 個別支援計画書にも記載している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎朝ミーティングで話し合っている。 保育士や児童指導員を中心に看護師や療法士の専門家の意見を聞きながら作成している	

児 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		理解できるレベルのスケジュールを示し、日課を予告し、柔軟性を身に付けていけるよう支援している。本人の状態に応じて、課題の量や内容を変えて準備している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		定員が7名と少ないため小集団へと適応していけるよう計画的に支援している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼ミーティングで支援内容役割分担の確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後、その日のトピックについての報連相で情報共有しているが、詳細な情報共有は難しい時があり、翌日の朝朝礼にて伝達。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録に漏れがないようダブルチェックしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングに加え、ニーズに合わせて計画を見直している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者、児発管が参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		協力医療機関のドクターが定期的に往診している	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		幼稚園、保育園、療育センター等での個別支援会議に参加し、情報共有に努めている。見学や臨床指導も適宜実施し情報共有を行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		幼稚園、保育園、療育センター等での個別支援会議に参加し、情報共有に努めている。見学や臨床指導も適宜実施し情報共有を行っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		専門機関との連携は平素より連携を取らせて頂いております。研修については、積極的な受講を推進しています。	今後も継続していきます。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		高校生のボランティアさんと交流や児童館の子ども、他事業所と交流する機会を設けている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎の際の伝達および定期的な面談 プラスメッセージでの報告や動画共有などを実施	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者会の実施を今年度は12月におこなった	職員体制の変更等もあり、適時の実施が出来ていない部分もあるかと思われます。 また、講演会や保護者交流会など、実施に向けて取り組む予定としております。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際に説明し、変更時も説明をさせて頂いている。	

保 護 者 へ の 説 明 等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		送迎の際の伝達および定期的な面談 プラスメッセージでの報告や動画共有などを 実施 重度心身障害児や医療的ケア児の意思疎通な 難しい部分もあるが学校の担任の先生や園の 先生からも情報をいただくようにしている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		契約の際に説明し、変更時も説明をさせて頂 いている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		事業所でうまく出来たことを、家でも 上手くいくように伝えたり、メッセージを送 信適宜面談の実施および専門家の実技指導実 施している	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会の実施を今年度は12月におこなった 兄弟児イベントとしてスポーツ大会の実施、 三線コンサートの実施	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		ご意見には真摯に対応している。今後も丁寧 な対応を心がけていく。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		SNS、ホームページ、プラスメッセージで で発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		不要になった名前が記載されたものはシュ レッダーにて破棄し、厳重に注意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
非 常 時 等 の 対 応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域行事にも参加し、今年は5月に三線コン サートを開き地域の方も参加していただい た。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを策定しており、職員会等で 職員に周知している。保護者への周知のため、 マニュアルを配置している。HPにも公表して いる	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		消防訓練年2回、地震、感染症など必要な訓 練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		服薬や痙攣発作の状況は確認しているが、予 防接種の確認はしていない。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事の提供は行っていない。家族からの聞き 取りで対応はしているが指示書については家 族に依頼をお願いする。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定している。月1回事業所内の安 全点検を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		HPにて公表している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所間で共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置し、研修を行ってい る。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束適正化委員会を設置し、研修を行っ ている。	